月次業績速報
2023/06/30

# 2023 年 5 月　旅行取扱高状況報告

＜　旅行区分別　＞　　（単位：千円）

| 区　　分 | 取 扱 高 | 前年同月取扱高 | 前年同月比 | 2019 年同月取扱高 | 2019 年同月比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 海外旅行 | 14,471,323 | 1,995,283 | 725.3% | 26,822,730 | 54.0% |
| 国内旅行 | 3,996,420 | 2,709,334 | 147.5% | 4,582,320 | 87.2% |
| 訪日旅行 | 865,708 | 35,840 | 2,415.4% | 2,818,348 | 30.7% |
| 合　計 | 19,333,452 | 4,740,458 | 407.8% | 34,223,399 | 56.5% |

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ 5 社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019 年同月比を記載しております。

■海外旅行

5 月 8 日より新型コロナウイルスが感染症法上で「5 類」に移行し、コロナ禍が収束を迎える中、夏のレジャー需要を後押しするキャンペーン「SUPER SUMMER SALE！」を例年より日程を繰り上げて 5 月 12 日より開始しました。お子様・ハネムーナーを対象とした新規パスポート申請代金の全額負担をはじめ、通常 30 日・40 日前から発生する取消料を 15 日前まで無料とするなどの施策を通じて、夏旅応援企画を継続的に展開しました。

5 月出発の送客数においては、韓国が約 4 割を占めるなど、引き続き人気を博しております。また、取扱高においては、滞在日数の多いヨーロッパ方面とハワイが牽引しており、ヨーロッパ方面は航空券、ハワイはパッケージツアーを中心に回復をみせております。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比 725.3%、2019 年同月比 54.0%の 144 億 7,132 万円となりました。

■国内旅行

全国旅行支援の継続もあり、前年同月比を上回る取扱高となりました。「SUPER SUMMER SALE！」においては、お子さまの急病によるキャンセル料を無料にする施策を展開するなど、家族旅行を中心としたパッケージツアーの販売強化を図りました。

5 月出発の送客・取扱高としては、引き続き沖縄方面が全体を牽引しており、ゴールデンウイーク出発の成田発チャーター便で行く宮古島ツアーが好調に推移するなど、沖縄人気の底上げに貢献しております。また、国内航空券とホテルを組み合わせた「ダイナミックパッケージ」が引き続き好調に推移しており、2019 年同月比、前年同月比においても高い伸びを示しました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比 147.5%、2019 年同月比 87.2%の 39 億 9,642 万円となりました。

■訪日旅行

欧米からの団体旅行の需要が継続しており、取扱高を牽引しました。また、個人旅行者向けのサービスとして、東京上空を遊覧できる「東京ヘリクルーズ」といった新商品ツアーや、個人旅行者には提案が難しかったお食事関連のセットプランを開始するなどラインナップの拡充を図りました。また「HIS 原宿ツーリストインフォメーションセンター」では、ムスリムの旅行者にむけたご祈祷場の提供が口コミで広がり、インドネシア・マレーシアをはじめとする訪日旅行者から多くのご来店をいただくなど、訪日需要の回復の動きが顕著に表れています。しかしながら、市場と同様に中国からの受客が戻っておらず、本格的な回復には至っておりません。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比 2,415.4%、2019 年同月比 30.7%の 8 億 6,570 万円となりました。

2023 年 5 月の取扱高合計は、前年同月比 407.8%、2019 年同月比 56.5%の 193 億 3,345 万円となりました。

**本件に関するお問い合わせ先**
株式会社エイチ・アイ・エス　　Ｉ R室：050-1746-4188
広報室：050-1746-4177